



816.2
M428R

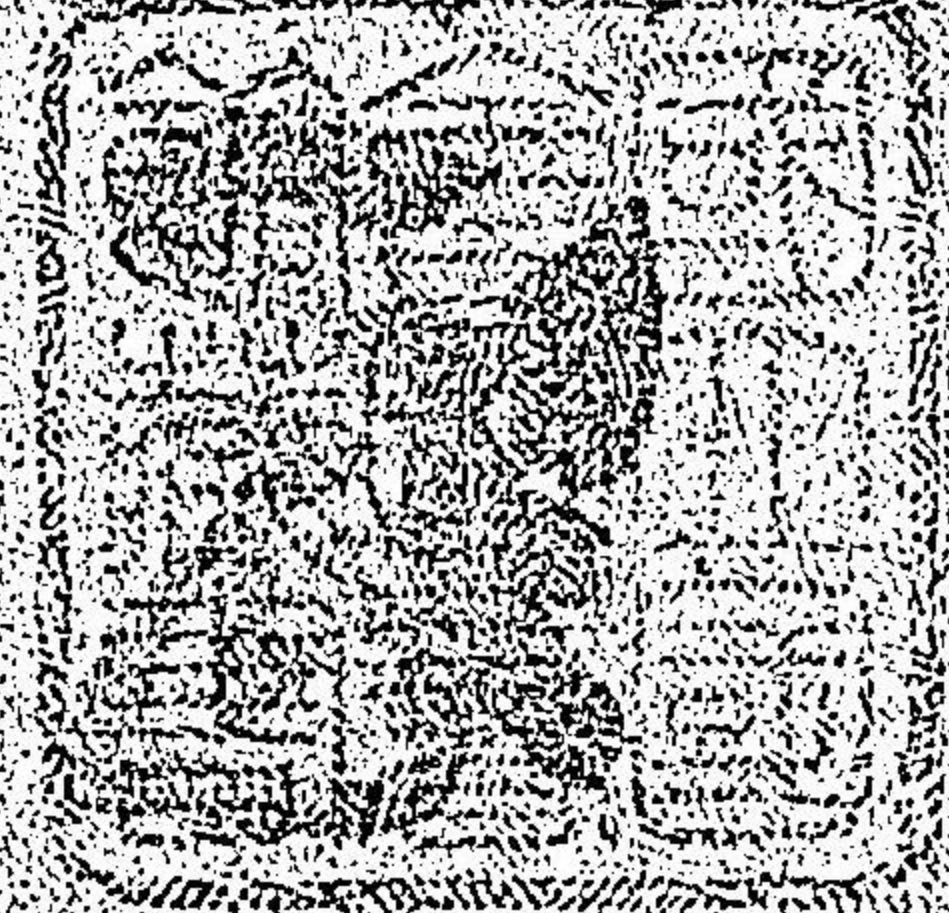


補增

冠
辭
例

全

816.2
M428a



221850

増補冠辭例序

孝徳の御代に定められたる十まり二一の冠は其後その製を改められてうちひさし宮人もふた、ひかうへのほすことなり式嶋の言の葉は道廣くして千早振神あからの冠を辭もうつせみの人に及ほし用ひては、ちる事なければ竹河の世々になかれさ、浪の茂くなん成來にけるこ、に享和の二とせといふ年松山何か物集めたる冠辭例とうひ學のうひかうむりにたよりよとてやき登ひ求むる輩櫛のはのひきもきらねわとこうす物のあやういためうたきましてすりおたりこたひ此冠つくり改めんとするにつけて雲受にひかけに取えへまほしく三代集の外六々の家集にいたりさるぞちくぬきいて、初をとゆひのゆひをへ侍るものからけつりたらぬ黒髪支りそるゑかたこそおほえ侍れよき冠のおやにいたかひて尊くもけたかくとよそほひな一玉かといふ時を文政れとせ文月のはしめ

青藜館主人謹誌

序

うま人のが、ぬりとおほやけの定めありて冠つくりのまゝのまに
万おのちがつらぬれなくにか、ふりてにやひなすに難も有歌
れ冠辭まゝらちふ事も一かなり只いに一への例よならひて歌よむと、そ
ほひと難すめり其壹葉のいに一へゆいてこゝゆゑよ一はなきにも
のりり人の加舞かへおきつる書らあればそにゆつりつこたえにま
り五百はかりの詞をえり出て世れ若子の歌れうひ冠おすたつきに
もといたつき難して冠辭例となつくるになも

享和二とせちふと一のみな月

松山貞主誌



冠辭例

凡例

- 一 冠辭は上は古事紀日本記倭姫世紀萬葉集其外諸書よりえりあつめ下は三代集より三十六人集にいたる
- 一 三代集より後に出るはかりは△印を以てわかたつ其餘はしるさと尤冠辭十か八九は萬葉集より出
- 一 此書の上巻は冠辭の次の句の頭字を五十音の假字もてさくりて其冠辭をもとむ例

あ之部

あかし火の
あかこゝろ
あまら月

明石

な之部

難波

あしける
あしかちる
あひささる
あひつづくに
みけつづくに
の句をしる例

あ之部

あしかちる
あひささる
あかこゝろ

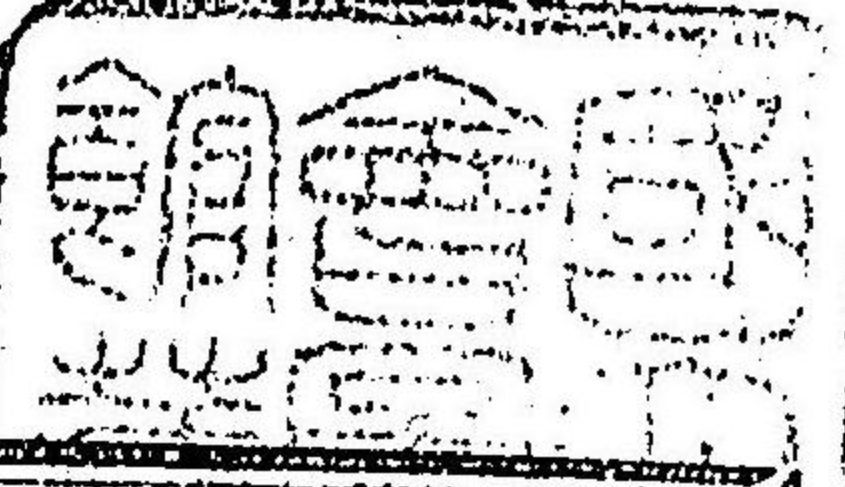
なには
同赤石

お之部

あしける

なには

餘は准らへしるへし
一地名は上ノ行下ノ行の中に國名をしるして上下の地名の國をしるを未詳の國はしるさそ



冠辭例之上

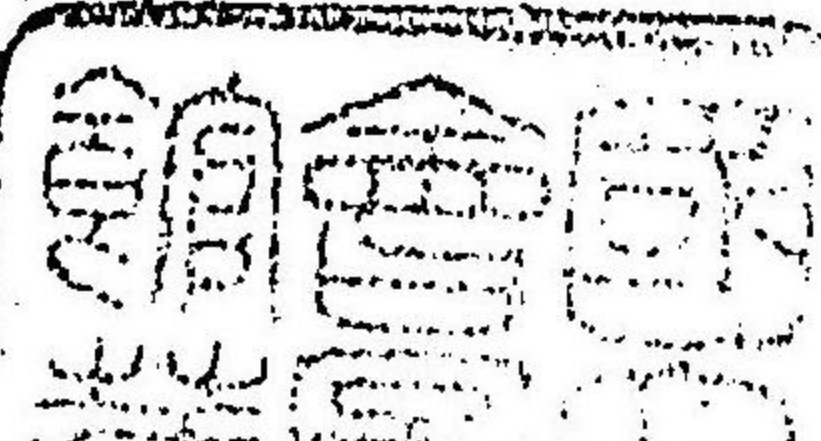
あ之部

あめ	ひさかたの
あま	同
あまのしくれ	同
あまてる月	同
あまつ罪	同
雨	同
朧やみ	ゆふつく夜
明ゆきにけり	いなのもめ
あくるあした	あかほしの
あかぬ心	同
あけなは	△あけ衣

あ之部

朝

朝こえまして	あからひく
あさ立しつ、	坂鳥の
あさ立もけは	あさ鳥の
あしき神	むら鳥の
あちふの宮	さはへきそ
吾をまつこら	みけむかふ
足なへくわかせ	ありそ松
足ぬらしくる	蘆若末 <small>アサ</small> の
あき	にはどりの
足なやむ	つゆ霜の
あきのいとなき	濱とどり
あまはせつかひ	にはどりの
あ野の國	いしたふや
	草 <small>イセ</small> のけ



冠爵例之上

あ之部

あめ ひさかたの

あま 同

あめのしくれ 同

あまてる月 同

あまつ罪 同

雨 同

脱やみ ゆふつく夜

明ゆきにけり いなのめの

あくるあした あかほしの

あかぬ心 同

あけなは ▲あけ衣

朝

朝こえまして

あさ立しつ、

あさ立もけは

あしき神

あちふの宮

吾をまつこら

足なへくわかせ

足ぬらしくる

あき

足なやむ

あまのいとなき

あまはせつかひ

あ野の國

あからひく

坂鳥の

あさ鳥の

むら鳥の

さはへさど

みけむかふ

ありそ松

蘆若末の

にはどりの

つゆ霜の

濱どどり

にはどりの

いしたふや

草のけ

あ之部

あさかの國	あらひゆく	あへしま山	たまかたま
あふみの國	いはしの	あをかき山	た、なつく
近江の海	わきも子に	青はの山	みつどりの
同	いされどり	あさまかたけ	△ちはやふる
淡路	みけむかふ	あちやま	まさたつ
あはちのしま	わきも子に	あら野	まくさかる
安房	しなかどり	上、は野	いもか、み
あつま	鳥かなく	あさはの野ら	くれなぬの
あめのかく山	あもりつく	あちふの原	おきつ鳥
同	ひさかたの	あかの松原	いもにこひ
あふさか山	わきも子に	あら、松原	あられうつ
同	をどめらに	あかしの浦	わかこ、ろ
同	君か代に	あかしの大門	△ともし火の
あらしの山	△人こ、ろ	あかしのと	同 居待月

あこきか島	△あふ事を	あをき	そに鳥の
あひねの濱	夏草の	あしかき	花くはし
荒わのさき	草かけの	あざら	あらしめの
ありそ	みさこゐる	あやにともしき	うまこりの
あしきの川	たましくしけ	あや	△くれはとり
雨ふる川	さとのくもり	あけてをちより	玉くしけ
あふくま川	よど、もに	明てくやしき	△はこ鳥の
明日香	とふ鳥の	ありかよひつ、	翅なぞ
あへたち花	うましもの	ありての、ち	あり衣の
あし	うららそま	同	有馬菅
あふちの花	わきも子に	あり	ありそ波
あやめもぎらぬ	△あやめくさ	ありつゝ	ありま菅
麻手小倉	にはにたつ	間	玉のをの
あつきの山	みどらしの	ありゆき	さなかつら

あひだもあきて	ふるに雨
同	よめる波
あれのみまざる	▲あきつ波
あはぬ物ゆる	あはしまの
あはちと思ふ	同
あはむといふは	たまかたま
あくとや	▲あくと火の
あかさる君	てる月の
あかぬ	▲あうほしの
あらはるましき	埋木の
あらしふはしに	ゆく鳥の
あらしひかねて	同
あらしふみれば	同
あらし	あし引の

あはれ	あはちしま
あやうき	かけはしの
あさまし	▲澤水の
同	▲山かはの
あさき心	山の井の
あうても	▲同
あふきて待に	天つ水
あふき	そらのと
あせかたるせぬ	布雲の
あどやたるぬる	▲はまちどり
あしかる科	わしほ山
あなたづくし	▲はまの
あなかま	▲さ、ら川
ありても水は	みなせ川

ありてゆく水	▲同
い之部	
入日さしぬれ	あまつたふ
五十鈴	あきつたふ
いそいの宮	いそいの宮
いそいの宮	いそいの宮
いそいの宮	いそいの宮
いはこの社	つるき太刀
妹	さにつらふ
同	うつせみの
同	ぬはたまの
同	敷たへの
同	寝床屋の
いもかくゆへき	川さしの

いもかめみそて	あちさほふ
いもかゑまひ	うつせみの
息つく妹を	やさかどり
いはのひめ	つぬさほふ
池田のあそ	みつたまる
いよき吾故	しつたまる
いよまの國	はどりの
いひたかの國	おそひを
いそのくに	玉ひろふ
いどのたゑま	玉たれの
いせ	神風の
同	みけつくに
いつもの國	玉もしづし
いつもやへかさ	やくをたつ

出雲の子	山のはに	いくりの社	いもか家に
いづもたけるか	やつめさず	いくたのうら	君をれきて
いかにやま	さやゆぬき出て	いと長く	▲青柳の
いかつち山	あまくもの	いと	水つたふ
いもせの山	君と我	同	しらま弓
いなさの山	た、なめて	いそせ道	さ、れ波
いまさのみね	いもらかり	石見の海	つねさはふ
いなはの山	▲立わかれ	いなみの海	なしはし
いぐらの山	▲わかれては	入いつみ川	いもか門
いそへの山	しらま弓	出いりの川	同
今	同	いつみ川	同
今春山	同	いつみの川	た、なめて
いこまたかね	神さふる	いづみの里	まこつみの
いはせのもり	ものたふの	いはれの池	かはつなく
			百つたふ

いはれの池	つねさはふ	ぬは玉の
同	▲なき事を	さにつらふ
いは	あし引の	▲くれなゐの
いは垣淵	かぎろひの	壹海の花の
市場	▲そぐ六の	しらなみの
五十槻	も、た、そ	たまきはる
い	敷たへの	いはひ槻
同	しきもあふ	したしもの
いやしと宿	むくらはふ	うつらなを
いかた	も、た、そ	したしもの
いまし	はまつ、ら	したしもの
命	玉さはる	椶の木
同	うつせみの	わかくさの
同	朝露の	はふくその
		ゆく水の

夢	ぬは玉の
色	さにつらふ
同	▲くれなゐの
ちじろく	壹海の花の
同	しらなみの
いく代	たまきはる
いく代まで有らむ	いはひ槻
いはひ伏つ、	したしもの
いはひもとほり	うつらなを
いはひ拜	したしもの
いやつぎくに	したしもの
いやめつらしき	椶の木
いやとほなかく	わかくさの
いやましにのみ	はふくその
	ゆく水の

いやふたこもり 秋葱キの
 いやとこしきに まなきつら
 いやとくへし つるきたち
 いはねはこそあれ ▲いはつ、し
 いはて心に ▲いはし水
 いはまほし ▲山水の
 いつしか つちしはの
 いつもく 同
 いつともわかぬ ▲松の柴の
 いちしろく ふる雪の
 いか、 いろど山
 いかにしてかむ いかりおろし
 いまこはゆげと ありむらの
 いま、さきこせ いるや川

いそぎ
 いたらむ 白雲の
 五百堂か、くれ
 いたでらしもに 波のほの
 いなみの里 ▲たもとほり
 いな いなみ野の
 いなにはあらざ いな舟の
 いつかりあひて ひものをの
 いやめつらしき 春花の
 うつき
 うちのむと このくれやみ
 うつくしつと なみくもの

う之部

うかひがたも しまつ鳥
 うちぞて人 古衣
 内つ國 玉かきの
 うねひの山 たまたさき
 馬くひ山 はん草を
 うそひの坂 ひなくもり
 同 ひのくれに
 卵名手の社 まどりぞむ
 海 いさなどり
 同 わたつみの
 うなかみかた 夏麻引
 うなかふしまけ 同
 海ひをさして 同
 海にうきあて どりしもの

うちわの里 衣手を
 宇治 ちはやふる
 同 ちはや人
 うち川 もの、ふの
 うるわかはへ 秋かしは
 るちの大野 玉さはる
 魚 みなしたふ
 うち沙の鳥 わかこ、る
 うち野の山 はたそ、き
 鵜 しまつ鳥
 うちのかさり 玉さはる
 うまいぬしとに ししくしろ
 うむとさなしに 打そかけ
 打墨なはの一筋 ▲飛弾人の

う之部

うらなまをれば ぬきこ鳥
 うきままりぬて 庭さ、め
 うきねをぞれば 鳴しもの
 うきてへぬらん みつどりの
 うきたる戀 ▲こく舟の
 同 ▲うき草の
 うきめをつゝむ ▲あまころも
 うきてもゆる ▲か、り火の
 うかへなかせれ 玉もなき
 うかひゆかむ うけのをの
 うきしつみ ▲うきしまの
 うきたる ▲あま雲の
 うき事 ▲うの花の
 うきねやそへき みつどりの

うきふし ▲竹の子の
 うき身 ▲うたかたの
 うき事あれや ▲うき草の
 うき事 ▲うららひの
 同 ▲夏ころも
 うつし心 玉のをの
 同 くれなるの
 同 つき草の
 うつろひやきき 同
 同 花そめの
 うつり往ぬれ はねを邊の
 うつりもゆくか もみちはの
 うつれる影 ▲秋はきの
 ▲まどか、見

うつる色 ▲さくの花
 うらなひし ▲しほかまの
 同 ▲くそのはの
 うかみそふかき ▲石見かた
 うらみ ▲同
 うとき ▲うとばまの
 うたかた 水のあわれ
 うちかふしまけ なつそ引
 え之部
 あ之部
 おほくの日をも ▲あしろ木に
 大宮 としらの

大宮人 さと竹の
 おほやけ道 ものさはに
 大津の宮 さ、なみの
 おほつの子 そらかそふ
 おとのみこと はしむかふ
 臣のをとめ みなそ、く
 同 みなそこふ
 おもしる君 白浪の
 おどろかし ▲小山田の
 おどろの髪 ▲道しばの
 ねくの手 ひたり手の
 大山もり さ、なみの
 面影さらそ まりか、見
 おのかむさし はふ薦の

忍坂の山 青はたの
 大くら山 ▲みつぎつむ
 音羽の山 ▲あまひこの
 おき長川 にはどりの
 おきつ小島 水きらふ
 おきつ深江 わたのそこ
 沖 わたつみの
 同 玉藻かる
 おはひみたれて かりこもの
 同 玉のをの
 同 とき、ぬの
 同 わしかきの
 同 菅の根の
 同 朝髪の

おはひみたれて ▲かくなはの
 同 春かそみ
 思ひしなゑて なつくさの
 思ひつきにし わかくさの
 思ひま、ひて 朝きりの
 同 やみ夜ると
 思ひまつはし ふちなみの
 思ひたのみて 大舟の
 おもひ過へき 杉むらの
 思ひ過めや たつとりの
 おもひそむ ▲くれなゐの
 おもひによる ▲夏むしの
 思ひにもゆる ▲同
 ねと あつさゆみ

おろしの風 ▲しとみ山
 ねどのみさく 鳴神の
 おどにき、つ、 ▲同
 おどつれ あまひこの
 音き、しより ゆく水の
 音にのみさく ▲山川の
 音にし出なは 春風の
 おきてしくれば つゆしもの
 同 あざしもの
 ねほふ 玉くしけ
 奥 同
 おくかもしらぞ あまくもの
 おほせと ▲大よとの
 おほ 朝きりの

ねほにし思は、 春かそみ
 おほよそ 白雲の
 おなし心に 入ひもの
 ねさふし ▲白雲の
 同 ▲鳴鹿の
 神 たまちはふ
 同 ちはやふる
 か、やく神 ほたるなぞ
 かも神社 ▲ちはやふる
 かるの社 ▲あまどふや
 かるのをとめ あまたむ
 かよひし君 朝きりの

か之部

かわかひ
 かわ戀つま
 かわいと
 かわてひ
 かわるざりてる
 かわをひに
 かわにし人
 かわる身
 かわまる君
 かわなる命
 かわらかるた
 かわるき髪に
 かわらにしつ、
 甲斐のくに

▲あふこの
 ぬるどりの
 ▲あふこの
 いそかひの
 ▲あふ事は
 盤干のかたの
 冬草の
 みつほなを
 はふまめの
 つきくさの
 月人の
 みなのおた
 春柳
 なまよみの

かつらぎ山
 同
 同
 神のかく山
 春日の山
 かたをか山
 かせ山
 かまくら山
 春日の壘
 春日
 かにかを道
 かみなひ山
 同
 かみなひ川

春柳
 同
 春柳の
 ▲しもとゆふ
 あもりつく
 朝日さぞ
 しなてる
 みもろつく
 たきしこる
 霞たつ
 まくそはふ
 はる日の
 いとはしの
 うまさけを
 かはつなく

片足羽川
 かどりの海
 かどりのうら
 金のみさぎ
 かしまのさき
 からにのしま
 かつしか
 かつをみれば
 かりちの小野
 からのさき
 かりちの池
 同
 かるのみち
 厂のつはさ

かわつち
 大舟の
 同
 なつころも
 ちはやふる
 かわられふり
 玉藻よる
 にはどりの
 ちはの
 わかこもを
 こささつく
 あまどふや
 とほつ人
 同
 あまどふや
 同

かりか來鳴む
 同
 同
 かもちふ舟
 かも
 ちどりあへそ
 川そひ柳
 鹿火やか下
 からうすにつき
 かしこき
 かけて
 同
 同
 同

とほつ人
 いつとどり
 にはつとどり
 おきつとどり
 同
 こく舟の
 いなむしろ
 あさかそみ
 さひつるや
 いはくやそ
 たくひれの
 ▲から衣
 玉たそき
 同
 ▲かり衣

かけて まそか、み
 同 ゆふたとき
 かけてよからん くるへさま
 かけぬ時なく たまかつら
 影にみへつ、 同
 かつらき山 同
 かる 白雲の
 敷にもあらぬ しつたまき
 同 ちりひらの
 かへそく ▲あら小田を
 同 ▲春の田を
 かへりてすまは ▲瀧の水
 かへるく ▲かへる山
 かへる ▲しら波の

かへる 衣手の
 かくれにしかは 入日さす
 か、らはしもよ どちらのりの
 かゆきかくゆき 夕星の
 かよりかくより 玉もなき
 からき戀 やくしほの
 からくも ▲もしほ木の
 かくふたこもり ▲ひさまゆの
 かつみる ▲花かつみ
 かつてもしらぬ 同
 城のへの宮 ▲おさもみし
 木瓶 みけむかふ

君 さにつらふ
 同 あかねさそ
 同 さそ竹の
 君よひかへせ よふこどり
 君をおきみ おきつ波
 君かくゆへさ いはく糸の
 さひと 朝もよし
 紀路 同
 さならの山 ふるころも
 さならの里 から衣
 さしみかたけ あられふり
 ささ都賀野邊 吾妹子を
 さしもせならん ▲住ぬの
 さしし 野つどり

さくにたかはぬ ▲菊の花
 菊のしら露 ▲おどにのみ
 さたなき宿 むくら生の
 清き まそか、み
 さえはどもに おく露の
 さむかへる ▲水のあわの
 さえてはかなき ▲うたかたの
 さては ▲かりころも
 雲
 同 さ、かねの
 くにつみ神 白たへの
 くめのわく子 さ、なみの
 はたそ、き

くめのわく子 みつくし
くめのこ 同
くし稲田ひめ まかみふる
くる人 ▲しらひどの
草香の山 カウチ うちなひく
くらまの山 ▲そみそめの
同 ▲さつみやみ
くらふの山 ▲我こひに
くたみ山 ▲はやさめ
くらはし山 はしたての
熊木 川さしの
くゆ あをによし
くぬちこそく さしどみの
栗栖の小野

くたらの糸 ことごとく
くゆへき うはくえの
鯨 Sぞくはし
くものおこなふ さがにの
くまてに思ふ ▲やつはしの
くる ▲さねかつら
同 おきつなはのり
同 玉かつら
くるしき ▲いかりつな
くろ ぬは玉の
けさはあさる 朝のゆの
けやそと命 あさしもの

け之部

けなはけなまく あさしもの
けぬくき我身 おく露の
けやそと我身 露しもの
けなはけぬへく 同
けぬへき戀も 月くさの
けなはけぬかに ふる雪の
けぬへき 白露の
同 あるさりの

こ之部

木の間 あしひきの
粉かたの海 じらさきの
こがのわたり まくらかの
ころもかさり わきも子に
こまほしく みちのくの
こまのくる夜 ぬは玉の
こま 久かたの
このたち花 ぞこよもの
ころも 白たへの
同 しきたへの
同 あらたへの
同 ▲わさわけの
こはた ▲あさりの
こき出て あさひらの

け之部

こぎにしふね あさひらぎ
 こゑにたてゝも ▲山彦の
 こもりてをれば うつゆふの
 此さた過て ▲さたのうら
 心 みるるもの
 同 きもむかふ
 同 うちなひく
 心いさよひ 雲ぬなぞ
 心をいたみ いるしゝの
 こゝろをつくし みをつくま
 心ひらけて 梅のはな
 こゝろかろく ▲いなふねの
 心ほそく ▲くものいの
 心はよりぬ こづみなぞ

こひかぬらん かほ花の
 こかれて ▲深ふねの
 こたそとほそ なくこなそ
 こたへ ▲山ひこの
 こはたかいひし ▲こはた川
 このもかのも ▲つくはねの
 こやる つき弓の
 こりともこりぬ みやま木の
 こゑになまつ、 ▲よふて鳥
 さかゑし君か 馬酔木なす
 さかゆるをぞめ さくらばな
 さかゆる時に ゆふ花の

さ之部

さわくとねり さはへなぞ
 さわぐこども 同
 さわき、ほひて ありむらの
 聖人 玉ほこの
 狭田の國 畔廣の
 さぬき 玉もよし
 さつまつせと はや人の
 さぎな山 たくひれの
 同 しらどりの
 さかしき山 はしたての
 さりて どなみはる
 さみねの島 なぐはし
 同 ぎくはしき
 さほ川 かはづなく

さほのかはら うちのほる
 さなみちを しなたゆふ
 さらの小野 天在
 同 あめなるや
 ささ野 をみなへし
 ささ澤 同
 さやに入野 太刀のしり
 さてのめて 花くはし
 さやの口々 ▲七つ子の
 さやかに ▲同
 さぎし ささ草の
 さるくしづみ ありさぬの
 ささくまづみ 同
 さして つくし櫛

かしげくしらに　　ひしがらの
 さまよひぬれば　　春鳥の
 かなは　　さなかつら
 かしげ　　しかの角
 かしげても君を　　いなむしろ
 しぬへる君　　をみなへし
 しきたへの子　　あからひく
 したべるいも　　秋山の
 したびをどこ　　同
 したひかした　　同
 しびのわくこ　　みなとく
 しびつくあま　　おほをよし

し之部

しろきた、むさ　　た、づぬの
 しらひげ　　同
 しろかみ　　ふる雪の
 しろた、むさ　　ねしろの
 した備之國　　許母り國
 しろさのくに　　た、つぬの
 同　　たくふさま
 信濃　　みそ、かる
 志摩　　みけつくに
 しろやまかせ　　たくふさま
 しまくま山　　たまかたま
 志賀　　さ、なみの
 しろかたのつ　　青雲
 しろはま波　　たくひれの

しけ、きにや　　あし原の
 下行水　　下檜山
 下こかれのみ　　おく賊火の
 したもえ　　かやり火の
 しとろもどろに　　刈かやの
 下ゆ戀る　　下紐の
 したよの戀　　はふくその
 したにのみこそ　　尊ねはふ
 したにかよひて　　みなせ川
 したよばへつ、　　こもりづの
 しなぬうちふれ　　なつこさの
 しなひさかゑて　　春山の
 しぬひてぬれば　　しぬのめ
 しのひ　　しのだま

したひさまして　　なくこなど
 しりぬ　　しり草の
 しられん　　しら夢の
 しばく　　しばの野の
 同　　たつ波の
 してきたのみやも　　おきつなみ
 してきた　　さ、れなみ
 しけき　　春くさの
 しろそ　　しら波の
 同　　しら菊の
 しらす　　しら川の
 しろくじな　　しらかしの
 志はなれたり　　捨衣
 しつ、の田居　　をばれちる

そ之部

すくなみ神 いはた、そ
 そくるおとめ 腰ぼりの
 過にし君 もみちほの
 過かてぬ子を 同
 そきにし人 ゆく川の
 過にししも 同
 そきていぬるも もみちほの
 過て ゆくふねの
 同 露霜の
 そくかのくに うまぢけ
 駿河 うちよたる
 同 うちよたる

潜さの入

あぢのそむ
 みさごめる
 そりの山
 ふせやたさ
 あつさ月
 同
 同
 未はよりねむ
 同
 同
 未中
 同
 同
 未はよりねむ
 同
 同
 庭たつみ
 梅の花
 玉たれの
 せきもと、めさ あふ坂の

せ之部

そ之部

袖 秋つはの
 袖ふるいを しろたへの
 そてふる山 をとめしる
 そてふる川 いそのかみ
 ろかのくに 百張
 そかのうら まそかよ
 そかのかはら まそけよし
 背向 山そけ
 そかひにねしく ささ竹の
 そめして、ろ 染ゆふの
 そこ かたもひの
 そここかる、 かやり火の

そ

た之部

つなみ
 たかみむそびの神 こもすくら
 たからの子ら ありぬの
 立あえぬ君 はやし瀬の
 たねぬつかひ なつくその
 たふとからんど 春花の
 竹田のくに らいほるさそ
 籠原の國 大河の
 田上山 ころも手の
 同 ゆふた、み
 手向山 同
 たむの山 うちたをり

そ之部 せ之部 せ之部 た之部

た、んよそひに 水どりの
 龍田山 白雲の
 同 沖つしら波
 同 ぬそ人の
 同 ▲なき名のみ
 高尾山 ▲同
 立野 ▲秋さりの
 たけ田のはら うちわたそ
 玉まくだぬ たらのりし
 たゆひかうら まどらぞの
 高しのはま 大伴の
 同 ▲おきつ波
 たふしのさき くしろいく
 田みの、しま ▲雨にくり

たるみ いはゆる
 たき 同
 辰の市 ▲なきなのみ
 高はし こもまくら
 高せのよと 同
 たかや 衣手を
 たもと しきたへの
 たそき しろたへの
 旅 くさまくら
 同 ひもどりぬ
 たちのさわき たち嶋の
 立分 ▲しら雲の
 たときもしらそ 天雲の
 たゆとふ心 同

たときもしらそ くもりよの
 たゆたふみれば 大舟の
 たゆたふ事を みなせ川
 たちてつるつき うましもの
 たつをしみ ▲からころも
 立てもいても 五百色なみ
 同 龍田山
 同 ある雲の
 た、八月 みどり子の
 たちにしわか名 むらえたの
 たちはて、 かしにしき
 たつね ▲はふくその
 たつねくれはそ ▲なくたつの
 たれ ▲玉たれの

たれをまのかは ▲にこり水
 たもかれ時 ▲そみそめの
 たづくし あしたつの
 同 とふたつの
 たらはしげんど もちつきの
 たれるおもかに 同
 たのめる時に 大ふねの
 たぎる胸をも ▲な須の湯の
 た、きあさはり まさきつ、
 た、めに君を まそか、み
 たえたる 玉のをの
 たえ老 同
 同 夏くその
 たえたる 龍田山

たゆることなく 玉かつら
 たゆる **△同**
 たえそしぬらん はにくその
 たえむの心 眞玉づら
 たえぬ さらしめの
 たえにし 白雲の
 たえまつがむま うさゆつる
 たえぬかちなる **△わそれ水**
 ち、のみと ち、のみ
 ちたるくに くはしほに
 千のうらわ **△秋かせの**
 芽生 浅芽原

ちるへきものを 初花の
 ちひろにもかも たくなはの
つ之部
 月日 あら玉の
 月 ひさかたの
 同 ぬはたまの
 同 ゆくかけの
 同 ちのしたにて ちらかねの
 つきく つりの木の
 つまきひしけん ふせやたて
 つま わかくさの
 つまや まくちつく
 つしま 有ねよし

つくし しらぬひ
 同 我こゝろ
 同 さつやぬき
 つくしのさき うまのつめ
 つくまさぬかた しなてる
 つくはの山 わしのそむ
 つくはを過 にひはり
 つるさの池 みはかしを
 つるかのかに **△も、つたふ**
 つもりの占に 大ふねの
 露分衣 なつくさの
 つゆの命 **△つゆくさの**
 罪さりしぬる **△つばすみれ**
 つかの間も かるかやの

つむぎもつさし **△つむ稻の**
 つくく **△つくは山**
 つらし くまつち
 つきてゆければ ままきつ、
 つはらく からの音の
 同 あさちはら
 つね うつせみの
 同 いそまつの
て之部
 てる まそか、み
 てれる月夜 あかねさし
 手ひさのいと **△夏引の**
 てにまきもちて たまくしろ

ち之部 つ之部 て之部

手にとりもちて ゆふた、み

と之部

年 あり玉の
 時ともなく ゆく水の
 舎人 さと竹の
 とを、 うつ竹の
 とをはるみこ なゆ竹の
 とをよるころ 同
 とほきわきも かせのとの
 とほき園へ 雲はなれ
 とほつあふみ アラミ ありれふり
 とほつ大うち キヤ 同
 ときの郡 ▲したひりの

跡見のをかへ

同 いもがめを
同 いめたて、
同 うかねらふ

鳥羽の淡海 同
 とはに にひはりの
 とはたのうら ▲山しろの
 豊はつせ路 ほと、さぎ
 となみの關 こもかくの
 とば山松 エツチツ
 とりかひ川 ヤヤ ありひきぬ
 とろしの池 イツミ いもが手を
 とをむまよひさ 沖つなみ
 とこ しまたへの
 床のへさらみ まとか、み

いははなす

とほは 豊さかのほり
 とほき 雲井なぞ
 とほさかりゐて なくなるさの
 とく まとか、み
 とさしころ つるきたち
 ところろ やきたちの
 とけき ▲朝氷
 とくく ▲同
 ともまき あるたつの
 となりかくなり ▲うりつくり
 とけき じそひ松
 とけて 同

な之部

あかき春日を ぞかのねの
 なるはたをどめ ひかるかみ
 なひきしへも おまつもの
 なかくや人を ▲春の日の
 なかきをかこてればあきのよの
 なからの宮 うみをなせ
 なら 同
 同 わをによし
 同 みてくらを
 同 あしかちる
 同 わしてゐやどる
 同 みけつくに
 同 あひらなる

なにはねもはそ 同 つのくにの
 なには立ぬる 同
 なかそとみへて 同
 名にもあらそ 同
 なからの山 同
 なはりの山 同
 なこせの山 同
 達床山 同
 なこしの山 同
 ならしの岡 同
 名たかのうら 同
 なかどのうら 同
 なかどのしま 同
 ながた 同

なきの川 同
 衣手の 同
 中だヒ、キノ 同
 中に生たる里 同
 ちはどりつけ 同
 ならん 同
 ならへてみれば 同
 中 同
 同 同
 なかく 同
 なつさひゆけは 同
 ちつさひ 同
 なつさふ 同
 なひつさこんど 同
 なるどはなしに 同

衣手の
 ひさかたの
 うましもの
 せ、か山
 しほふねの
 みつくりの
 ささくさの
 石はしの
 にほどりの
 鳥しもの
 からなつな
 ひくあみの
 大しまの

なる、
 なれば身にこそ
 なればまさらて
 ならしかほ
 なき名とりては
 なるるなみた
 なきになきつ
 なきのみなむ
 なきにしなむ
 なきころわたれ
 名
 名はかつのらし
 名はのりてしを
 名のをしけくは

ふちころも
 から衣
 ならいはの
 ならのはの
 名とり川
 にはたつみ
 春鳥の
 朝鳥の
 なくたつの
 初丁の
 こく舟の
 名はのりの
 名のりその
 つるきたち

なか心から 同
 なごり 同
 なかく 同
 同 同
 なかき心 同
 ながき 同
 なかさいのち 同
 なかはへなご 同

しら波の
 さささの
 赤ひもの
 おく手なる
 玉のをの
 たくなはの
 うちわたす
 秋のはの
 あさ日かけ
 つ、しはれ
 かきつはた

にほへるも ちまぢの
 同 秋はきの
 同 秋つはの
 同 むらさきの
 同 かさつはた
 にしきのひも さ、ちかた
 にひ手まくら わかくさの
 丹生のまそは まかねふく
 にこよりに はこ草の
 はこり ▲山の井の

ぬ之部

野島 ▲みけつくに
 ぬしまかちま なつくとの

ぬのさぬ ぬらたへの
 ぬらとりあまて たむけくさ
 ぬてゆらぐもも もつたふ
 ぬれさぬ ▲白鷺の

ぬ之部

根はるあづさを さそ柳
 ぬをたへて ▲うさ草の
 ぬてのよふへ ぬは玉の
 ぬもころ そかのぬの
 同 蘆のぬの
 同 ▲川柳
 ぬぬはたてし ▲ぬぬなほの
 音のみしなかゆ なくこなき

同 たはらほの
 ぬにのみなかゆ あしたつの
 ぬにたて、なく ▲あやめ草
 ぬなかき命 同
 ぬになく ▲初丁の

ぬ之部

のとり山 ひもか、み
 のとよひをるに ぬえどりの
 同 ぬえことり
 後もあはん 後せ山
 同 さねかつら
 のちもあひきん 行水の
 後にはあはむ 熊登川の

ぬ之部 ぬ之部 ぬ之部 ぬ之部

のりしころ ころ舟の
 は之部
 同 同 同 同 春
 はるさりくれは うちなひく
 同 冬こもり
 はやふらわけ たかゆくや
 士師 こまつくる
 は、のみこど は、そはの
 母 たくちぬの

同 たくちしや
 はりまはやまち みかしほ
 はりま 同
 はつせ こもりくの
 はつせ山 同 あまを舟
 はがへの山 大とりの
 はかへ ▲しひ柴の
 はま いされとり
 はままつかね しらなみの
 羽田 とりかよふ
 はるの柳 うちなひく
 はなてしあらは 玉かつら
 はかくれにたる さす竹の
 肌 あからひく

はや見来て 飛鳥の
 はやく ▲ゆく水の
 同 ▲はや舟の
 はる、時なく ▲朝きりの
 はやき心 ▲たきつせの
 はつかは はつ厂の
 日 かきろひの
 同 あからひく
 同 あかねさそ
 ひる ▲同
 日を入れて ▲あしる木に
 ひもゆふくれ ▲からころも

ひ之部

ひかりのとけき ▲ひさかたの
 ひと夜 あらたまの
 日のみかど 具木さく
 ひてる宮 あさ日の
 日かけるみや 夕日の
 ひ、めの命 天てらそ
 同 さしのほる
 ひのみこ たかひかる
 ひのみや人 同
 日嗣のみこ つるきたち
 人 ちはやふる
 同 うつせみの
 同 しら玉の
 人にしぬへは しぬのめの

人のよこいど かきほなそ
 人こそき、て 同
 人をあく ▲紅の
 人はくれども ▲青つらら
 人、に山 キイ つねならぬ
 ひどり子 かとしもの
 ひどりして 同
 ひどり かのしのみの
 ひとりしぬれば ▲山鳥の
 ひどりかむねん 同
 日照國 ヒラカ 夕日の
 ひたち ころもての
 ひろたの國 みる、ろ
 ひな あまさかる

平山 アラミ ひさ折ふせて
 平野 オヤノ 一目 カミ しろもの
 引手の山 オヤノ オヤノ かきろひの
 ひめそがはら オヤノ みづがきの
 ひだの細衣 オヤノ はまひさ木
 ひかさのうら オヤノ あつさ弓
 ひらきのなた オヤノ オヤノ オヤノ
 ひも オヤノ オヤノ オヤノ
 同 オヤノ オヤノ オヤノ
 ひと オヤノ オヤノ オヤノ
 ひとへにうきさ オヤノ オヤノ オヤノ
 ひどら衣 オヤノ オヤノ オヤノ
 ひのいた戸 オヤノ オヤノ オヤノ
 ひのつまで オヤノ オヤノ オヤノ

ひさ折ふせて オヤノ オヤノ
 一目 オヤノ オヤノ
 久しきときゆ オヤノ オヤノ
 ひさしくなりぬ オヤノ オヤノ
 ひく オヤノ オヤノ
 ひく人もふき オヤノ オヤノ
 ひく手あまた オヤノ オヤノ
 ひけはたゆ オヤノ オヤノ
 ひかはぬるく オヤノ オヤノ
 ひまなく オヤノ オヤノ
 ひるまわひしき オヤノ オヤノ
 冬 オヤノ オヤノ
 みる雪ふる オヤノ オヤノ

ふるとも雨に オヤノ オヤノ
 ふる人 オヤノ オヤノ
 ふかめし オヤノ オヤノ
 ふたりならひぬ オヤノ オヤノ
 ふたりなみぬき オヤノ オヤノ
 藤原 オヤノ オヤノ
 ふるさみやこ オヤノ オヤノ
 同 オヤノ オヤノ
 二見のくに オヤノ オヤノ
 深城手のくに オヤノ オヤノ
 二上山 オヤノ オヤノ
 同 オヤノ オヤノ
 同 オヤノ オヤノ
 同 オヤノ オヤノ
 同 オヤノ オヤノ
 同 オヤノ オヤノ

いその上 オヤノ オヤノ
 ▲はる雨の オヤノ オヤノ
 ふり見るの オヤノ オヤノ
 にほどりの オヤノ オヤノ
 みかもなど オヤノ オヤノ
 あらたへの オヤノ オヤノ
 ▲石の上 オヤノ オヤノ
 さ、なみの オヤノ オヤノ
 速雨 オヤノ オヤノ
 岳高田 オヤノ オヤノ
 玉くしけ オヤノ オヤノ
 くしかみの オヤノ オヤノ
 みくしけの オヤノ オヤノ
 かきかそふ オヤノ オヤノ

同 オヤノ オヤノ
 ふけひのうら オヤノ オヤノ
 ふちぬのうら オヤノ オヤノ
 吹上のはま オヤノ オヤノ
 ふし見 オヤノ オヤノ
 ふりにしさと オヤノ オヤノ
 ふるし オヤノ オヤノ
 ふりふるさと オヤノ オヤノ
 ふりぬること オヤノ オヤノ
 ふりてつ、 オヤノ オヤノ
 舟木さら オヤノ オヤノ
 ふじ オヤノ オヤノ
 ふた オヤノ オヤノ
 同 オヤノ オヤノ

ふりき わたつみの
 ふかき心 おく山の
 こころ心 まきはしち

ハ之部

へくりのあそ こもた、み
 へくりの山 八重た、み
 同 た、みこも
 へつかふ やきたちの

ほ之部

ほがら〜と明行は ▲しの、めの
 ほか あしかきの
 ほのか かきろひの

同 ほとるなと
 ほのめかし 朝きりの
 ほつみのあそ やはたでを
 ほつみ 水たでを
 ほにいつる君 は、す、き
 ほつまの國 しわかみの
 ほにいつる ▲花す、き
 ほにそいてぬる たける火の
 ほにか出なん いさり火の
 火中 もゆる火の
 ほにいつる はたそ、き
 ほと〜 てをの音
 同 ▲をの、えの
 ほしどは ゆふつくの

はめてつくれる まきはしら
 ほたし 青つ、ら

マ之部

まつらちよひめ とほつ人
 ままねしいも たまくしろ
 まろかまかつね ▲まろ小音
 まさきくに うつゆふの
 まのり國 しらどり
 まなこの國 しら濱
 まさむく山 子らか手を
 まつち山 みるころも
 まさ、の山 いもかそて
 まかみの原 おほくちの

真野はりはら しら音の
 まわりのうら ころもての
 まつら とうつ人
 まつらの川 同
 まつの下道 同
 ましろのてま ころもはの
 まきの板戸 おく山の
 枕 しきたへの
 まさめ まそか、見
 まゆねかき 三日月の
 又ゆきかへり またみるの
 またをちかへり いはつなの
 まちかき ふちころも
 いとほしの

まつ事遠し づつかねの
 まつほと過て ▲まつち山
 まなく時なく 鳴鳥の
 まなく さ、波の
 まどへる くもり夜の

み之部

宮 さそ竹の
 同 うち日さそ
 同 を、しぬの
 同 なゆたけの
 同 花はちそ
 同 ▲みなれ棹
 同 つるきたち

みを切くたく ▲つるきはの
 みへのこ ありきぬの
 みやこ ひさかたの
 同 うち日さそ
 同 わしはらの
 同 もらしぬ
 同 たまくしけ
 同 たかくらの
 同 大君の
 同 君かきる
 同 雨こもり
 同 みけむかふ
 同 まそか、み
 同 うまさけ

みもち うまさけを
 三津 大どもの
 同 しらまなこ
 同 なにはかた
 同 か、みなそ
 同 まそか、み
 同 つもり目を
 同 同
 同 ことひうしの
 同 うち日さそ
 同 同
 同 わかた、み
 同 わさしもの
 同 同

みねりの里 たちばなの
 道 玉ほこの
 道はかたく ▲したのおひの
 道にふしてや いぬしもの
 水にうきゐて かもしもの
 みこそり ▲池水の
 みつくへこもり し、じもの
 みなきこともて うつせかひ
 みならぬこと やまそけの
 みそ 玉たれの
 みしかき 玉のをの
 みだれて 同
 同 朝かみの
 同 ▲れちかみの

同 かりこもの
 同 しつはたに
 同 かるかやの
 みたりにひのみ やまどけの
 見る まそか、み
 みどもわかめや 同
 みつる ▲みつのもり
 みれはかしこし なる神の
 みれは戀しき ▲つくはねの
 三 ささくちの

む之部
 むかつひめ あまさかる
 むなし國 背突の

向田の國 御怒
 武庫のわたり 玉はやそ
 むらちの山 あさつくひ
 むらちかいろ た、みごも
 むなみる時 おきつとり
 むすひし紐 秋草の
 むかふつけぐし あさつくひ
 むかふ まそか、み
 むらちのさ あかねさ
 むら立ゆけは むら鳥の
 むらかり 行鳥の
 むらへをゆかん やまたつの

め之部

めかほる君 あちささふ
 めにはわけとも 同
 めこどもたねぬ 同
 女にしあれば ぬねくさの
 女 たつ鳥の
 目に見ぬ ▲吹風の
 めてたからむ 春花の

も之部
 むね出る春 さわらひの
 むみち さにつらふ
 むりへのいへ たちはなを
 むらせ む、よくさ
 むろどもに ▲もろかつら

もとの心 ▲もとかしは
 もと ▲あつさ月
 もゆる かきろひの
 もそろく 大ふねの
 もりやしにてん ▲かしは木の
 もる ▲みつの森

や之部
 八十氏人 もの、ふの
 やうのをとめ 同
 八十をものを 同
 八十のこゝろ 同
 八十をものを うつせみの
 八十のちまた ことたまの

やちまたに	たち花のかけふ道
やまどの國	しき嶋の
同	あきつしま
同	そらみつ
同	そらにみつ
やまどを道	をたて山
やましる	つぎねふ
山	あしひきの
彌つ峯	同
八重山	朝かそみ
やかみの山	へまこもる
や野の神山	同
山田	も、たくそ
やそくまて	同

やそのしまり	も、つたぶ
やそうち川	も、ふの
やそはの木	も、た、そ
やははだ	た、なつく
やもひ <small>病</small>	くさつ、み
八重かき分て	天雲の
やさかのなけき	つゑたらぬ
やま言のへはけく火	うつせみの
やむとさもなく	さ、れ波
同	やまふきの
やめはつかる、	鳴鳥の
やまた	山ぞけの
同	やまぐさの

い之部

ゆ之部

ゆふへになれば	そみろめの
夕ざり	かきろひの
雪	しろたへの
ゆつきか嶽	さつ人の
ゆふは川	いもか紐
ゆけのかはら	まかなもて
行見の里	たもどほり
弓矢かくみて	し、しもの
ゆふとりつけて	しらがつく
ゆふは花かも	同

ゆき合のわせ	をどめらか
ゆきもしなんと	いるし、の
ゆきも見るへく	△しら山の
ゆかくもしらそ	はや川の
ゆきのまにく	天雲の
行かへり	「
ゆくへもなくや	はふくすの
ゆくへをしらに	こもりぬの
ゆくへもしらそ	△はなち鳥
ゆき過がて	ふる雪の
ゆくかたもなく	ぬま水の
ゆきやわかれん	ゆく雲の
ゆくさきしらに	やみの夜の
ゆりもあはん	さ百合花

ゆたけく
よそる海
ゆくらく
あま雲の
同 大舟の
ゆしく
ゆたねま

ぬ之部
よ之部

夜
ぬは玉の
同
よさり
ひさかたの
よわたる月
いさり火の
よるはほのかに
いさはしの
よるのちさり
しら波の
よるく

よる
あつさ弓
よなかさ
▲なよ竹の
よのみちかくて
▲蘆のねの
よるひるいはそ
あちさはふ
よみにまたんと
ししくしみ
よりねし妹を
玉もなそ
よし野のくに
みこころを
よし野の山
なくはし
同
なくはさし
同
よこ山
まよひさの
よらの山
あつさ弓
よさみのばら
あをみつら
よさみの池
みつたまる
よるかの池
いかるがの

世
うつせみの
よ、
▲くれ竹の
同 竹河の
世にへぬ
▲なよ竹の
よにもわそれぬ
▲わそれかひ
よりく
▲かたいとの
よりつきかたき
▲しらいとの
よのども
▲たちま糸の
よしや
▲よしの山
同 よしの川
よしもあらぬか
よしき川
よろ
あしかさの
同日の
同 夕日の
▲あま雲の

同
▲春かそみ
よふへの雨
▲久かたの
よるひる
▲同

ら之部
り之部
る之部
れ之部
ろ之部

●多之部 ●よ之部 ●ら之部 ●り之部 ●る之部 ●れ之部 ●ろ之部 四十九

わ之部

わが大さみ やとみしく
 わか大君 同
 同 どほつかみ
 わか子 さにつらふ
 しら玉の
 わか身 ▲朝露の
 ありかけ 高麗つるき
 吾^レ 玉さばる
 吾うふいも かみみなそ
 わかくろかみ うちなひく
 わかころも手 しらたへの
 われひさならは 若ひさ木

わかひけゆけは ひけどりの
 わかやる胸 あわ雲の
 わたらひの玉 百^{イセ}松の
 わたらひ 同 もつたふ
 わたりの山 大舟の
 わさみか原 こまつるき
 わかれしくれば はふつたの
 わかれしゆけは 天雲の
 わかれて ▲三日月の
 われてもの思ふ 岩にふり
 わけて ▲蘆の根の
 わたるてふ名 ▲わたり川

ゐ之部

ゐのへゆたに はるかそみ
 ゐな しなが鳥
 ゐての玉川 ▲かはつなく
 う之部
 ゐ之部
 ゐりの市 うまざけ
 ゐみさかえひて ゐひの
 を之部
 をやにの社 つかさたち
 をみの大君 うちんそ
 をみの子ら うちうばし

とどめ
 同
 とちかた人 玉もかる
 ととこをみれ うちわたそ
 とにひた山 ものふの
 とつくは嶺 しらどほふ
 とち野 玉たれの
 をちの菅原 玉玉つく
 とさほ 同 つまこもる
 をふのした草 さくら麻の
 とさ 玉たれの
 とらめ 同
 をちくちかねて
 とてもこのも
 としき
 をし鳥の

わ之部 ゐ之部 う之部 ゐ之部

冠辭例之下

あ之部

あめなる さゝらの小野
 あめなるや 同
 同 ひめ菅原
 天てらそ ひるめの命
 あまさかる むりつひめ
 同 鄙
 朝日の ゑみさうえきて
 同 日てる宮
 同 豊さかのほり
 あさつくひ 向の山

同 朝日さぞ むかふつけくし
 朝日かけ 春日の山
 あらたまの にはへる
 同 月日
 同 年
 同 春ともしらて
 あまつたふ ひかたのうら
 同 入日さしぬれ
 あらたまの ひと夜
 あまとふや 尸のつばさ
 あまたふや かるの社
 同 かるのみち
 同 かりちの池
 あまたむ かるのをとめ

あまひこの ▲あまづれ
 同 おとほの山
 あつはしの ▲あかね
 同 あくるあした
 あかねさだ 同
 同 ひる
 同 君
 同 てれる月夜
 同 むらさか
 同 あさ
 同 はだ
 同 ひ
 同 しきたへのて
 秋かせの ▲吹上のはま

同 秋のよの 千のうらわ
 秋のよの 長きかこてねは
 あさあけの ▲衣
 あさひらさ こそにし舟
 同 こそてし
 あま雲の おくかもしらさ
 同 たとさもしらさ
 同 たゆたふ心
 同 金かき分て
 同 ゆきのまに〜
 同 ゆさかへり
 同 ゆくら〜と
 同 わかれしゆけは
 同 いかつち山

同 ▲よそ
 おを雲 しらかたのつ
 朝かそみ かひやかした
 同 八重山
 おもひまどひて
 同 おほ
 同 ほのめかし
 同 こはた
 同 立野
 同 はる、時なく
 秋きりの けぬへく
 同 三笠山
 雨こもり ▲田みの、しま
 雨により あふきて待に
 同 あまつ水

あもりつく 神のかぐ山
 同 あめのかく山
 あさ霜の けなはけぬへく
 同 けやたき命
 朝自もの み木
 同 みけのさを橋
 あさ霜の をきてしくれば
 同 いのち
 同 あさつゆの けさはかきぬ
 同 わか身
 同 わわ雪の つかやる胸
 朝水 ▲とけそ
 同 ▲とくく
 同 さられふり かしまのささ

同 きしみかたけ
 同 とほつあふみ
 同 とほつ大うら
 同 ちかた山
 同 いは
 同 やつ嶺
 同 をてもこのも
 同 ちかし
 同 ▲うさたる
 秋山の したへるいも
 同 したひか下
 同 したひをぞこ

あしほ山 かしかるどが
 あふ坂山 ▲せきもと、めす
 あし原の みつほのくに
 同 しけ、き小屋
 あししけみ ▲ひまなく
 あさ芽原 芽生
 同 つばらく
 あきつしま やまどのくに
 あはちしま あはれ
 あはしまの あはぬものな
 同 あはちと思ふ
 あひまざる なには
 あまをふね はつせの山
 畔廣之 狭田國

あしかねの
あらし小田を
あしかきの
同
同
同
あきた火の
ありそ波
ありろ松
あをやきの
同
あきかしは
秋の葉の
秋くさの

つちのしたにて
かへそく
よそ
ふりぬる壁
思ひみたれて
外
あしとや
あり
あを彼岸ら
かつらき山
いと長く
うるわかへ
にはひにてれる
むそひしひも

ありま昔
同
蘆ねはふ
あしのねの
同
同
あしかひの
あしひなき
秋はきの
同
秋葱の
あやめくさ
同
同

ありつ、
ありての後
下にのみこそ
ねもころ
わけ
夜のみしかくて
あなへしわかせ
さかぬし君
にはへるいも
うつりもゆくか
いやふたこもり
あやめもしらぬ
ねにたて、なく
ねななき命

あしづどの
青つ、ら
同
あをみつら
あしろ木に
同
青はたの
朝どりの
同
同
あぢさはふ
同
同
同

ひとへ
人はくれども
ほたし
よさみのほら
おほくのひをも
日へへて
忍坂の山
かよひし君
朝立しつ、
なきのみ鳴む
めこともたえぬ
めかほる君
めにはあけども
いもかめみきて

あらしらの
同
あぢさはふ
あちの住
あしたつの
同
同
飛鳥の
朝かみの
同
同
あかきぬの
同
同
同

あわきまはひて
いさどはゆけど
よるひるいはそ
そさの入衣
たづ／＼し
あなたつ／＼し
音にのみなかゆ
はやみ来て
思ひみたれて
みたれ
ありての後
たからの子ら
みへの子
さゑくしつみ

同	あけ衣	さるくしつみ	同	ありねよし	きひと
同	あまころも	▲明なは	同	あつた写	つるしまの渡り
同	あらたへの	うさめをつむ	同	同	よる
同	あかきぬの	ぬのきぬ	同	同	ひく
同	あか紐の	ころも	同	同	おと
同	あきつ羽に	ひどうら衣	同	同	未中
同	あらひきぬ	▲なかく	同	同	そる
同	あらたへの	にはへる衣	同	同	未はよりねん
同	秋つ羽の	かりかひ川	同	同	よその山
同	あさもよし	ふちはら	同	同	▲はる
同		袖ふるいも	同	同	▲もど
		にはへる妹	同	同	あたら
		城への宮	同	同	なら
		きぢ	同	同	くぬちことく

あしかちる	なには	いもか手を	みそめのさき
あらひゆく	あさかの國	いもかかみ	取石の池
あかこゝろ	あかしのうら	いもにこひ	上さ、ば野
あふ事を	▲あこさか島	いもかかど	あかの松原
あふ事は	▲かたいさりさる	同	いりいつみ川
あふ事の	▲かた糸	同	いていりの川
同	▲かたかひ	いもか家に	いくりの社
		いもらかり	いまさのみね
		いもか紐	ゆふは川
		入ひもの	▲あかし心
		いろのかみ	袖ふる川
		同	ふるとも雨に
		同	ふるさ
		いははしの	まらかき

い之部

入日なせ	かくれにしかは
妹がろで	まさしの山
いもが目を	とみのをかへ
同	みまくほりぬ

同 同 同 同
い は し ろ
同
岩にふり
いはほなぞ
いはくえの
いはくやぞ
いはた、そ
いかるかの
いかに山
いかに川

近江
かみなひ山
△よるのちきり
△中に
瀧
たるみ
われて物思ふ
ときは
君かゆくへ
かしこき
そくなみかみ
よるかの池
いかに
いかに川

い な み 野 の
い さ な どり
同 同 同
い ば み か た
い そ く は し
い そ か ひ の
い そ 松 の
池 水 の
い は し 水
い し た ふ や
い な ふ ね の
同

△いな
海 濱
近江のうみ
ひ、きのなた
うらみそ深き
くぢら
かたこひ
△つね
△みこもり
△いはて心に
あまはせつかひ
△こころかるく
△いなにはわらぎ

い かり おろ し
い かり つ な
い つ と どり
い ぬ し も の
い る し、 の
い め た て、
寐床屋の
い な む し ろ
同
い な の め の
い さ り 火 の
同
い は つ な の
い ち し は の

いかにしてかむ
△くるしき
かけ
道にふしてや
ゆきもしなんと
とみのおかへ
妹
しきても君を
かはそひ柳
明行にけり
△はるはほのかに
ほにかいてなん
またわりかへり
いちしろく

い は ひ つ ぎ
い る し、 の
い め ひ と の
い は つ、 し
い ち し は の
同
う ち 日 さ ぞ
同 同 同
薄氷の
う つ せ み の

いかにしてかむ
心をいたみ
伏見
いばねほこきあれ
うつしか
うつもく
宮
都
みやけか原
みやのせ川
うたさ心
世

同 同 同 同 同 同 同 同
うつけかひ
うなひ子か
うきしるの
うと濱の
うきふねの
うけの緒の

人
いのち
いもかむまひ
八十とものを
八十とものへは
たもひし時に
うつし心も
つね
みなきこもて
うちたれかみ
▲うきしつみ
▲うとぎ
▲こかれて
うかひかゆかん

うましもの
同
うましもの
うつらなそ
うまつくる
うつらなく
同
うもれ木の
うの花の
うめの花
同
うり作り
うき草の
同

なばとりつけて
たちてつまつき
あべたちはれ
いはひもどほり
土師
ふりにし
ふるし
あらはるましき
うき事
心ひらけて
▲みぎものとのみ
▲どなりかくなり
▲根をたえて
▲うきる戀

同
うつ竹の
うつゆふの
うちろを
うちそはし
うみをなそ
同
うちそかけ
うさゆつる
うちたをり
うかねかふ
うちよそる
うちえとる
うちわたそ

▲うき事あれや
とそく
こもりてをれば
うみの大君
をみのこら
なからの宮
なかどのうら
うむ時あしに
たえまつあむ
たむのやま
とみ
するが
同
たけ田のはら

同 同
うまこりの
うまさけ
同 同
うまさけを
同 同
うちのほる
うちなひく
うちなひく
同 同
うちなひく

なかはへなそ
▲をちかたく
あやにともしき
鈴鹿のくに
糸かの市
三輪
同
みもろ
かみなひ
さほのかはら
わかくるかみ
はるの柳
はるさりくれは
ころ

同 くらかの山
 同 うたかたの ▲きえてはかなき
 同 うき身

わ之部
 か之部

おしるる なには
 ねしてゐや 同
 おそひを いひたかの國
 大君の 三笠山
 ねく露の きえはともに
 同 けぬきわか身
 大伴の 高師

同 高しのはま
 同 三つ
 同 おく山の まきの板
 同 大河之 ▲ふかき心
 同 おきつなみ 瀧原のくに
 同 同 とまむぎよひ
 同 同 しきてのみやも
 同 同 君をおきて
 同 同 ▲たからのはず
 同 同 ▲あれのみまさる
 同 おきつ白浪 龍田山
 同 おきつもの なひきしも
 同 同 なはりの山
 大ふねの つもりのうらに

同 たゆとふみれば
 同 たのめる時に もそろく
 同 同 ゆくらくくに
 同 同 わたりの山
 同 同 思ひたのみて
 同 同 かどりの海に
 同 おきつとり むなみる時
 同 同 ありふのはら
 同 同 かもちふ舟
 同 おほとりの はかへのやま
 大をよし しひつくあま
 大よどの ▲おほせへと
 大口の まかみのはら

大しまの ▲なるとはなしに
 おく蚊火の 下こかれのみ
 おそひを いひたつのくに
 おほぬさの ▲ひゝてあまた
 ねく手なる ななき心
 おとにのみ ▲菊の白露
 おちがみの ▲みたれ

か之部

震たつ 春日のさど
 カケラツ陽柱の もゆる
 同 同 夕さり
 同 同 日
 同 同 一目

同 同 同
かむかせの
かせの音の
かへる山
川さしの
かけはしの
かちの音の
かきほなそ

春
ほのか
いは垣淵
いせのくに
とほきわきも
▲かへるく
妹かくゆへき
▲わやうき
つはらくに
人ことき、て
人のよことと
▲うきてもゆる
▲下もぬ
▲そこにこかる、

かはつ鳴
同 同 同 同
か、もしもの
同 同
かこしもの
川柳
かしは木の
かしのみの
刈かやの

神なひ川
さほの川
いつみの里
▲井手の玉川
▲六山のよど
うきねをそれば
水にうきあて
ひどり子
ひどりして
ぬもころ
もりやしにけん
ひどり
つかの間も
▲みたれ

同 同 同 同 同
かりこもの
かりこもの
かきつはた
同
からなつな
かほ花の
から衣

▲しどろもとろ
思ひみたれて
心もしぬに
にはへる妹
にはへる君
▲なづさふ
こひてかぬらん
きれるの里
ひもへそ
▲ひも夕ぐれ
▲なれば
▲たつを、しみ
▲かけて
▲きては

同 同 同 同
からにしき
か、みなそ
同
かたもひの
かたいどの
かきかそふ
かぐなわに

▲かけて
▲たちはて、
吾念妹
三つのはまへ
そこ
▲よりく
ふたかみ山
▲れもひみたれ
之部
▲あふ坂山
▲なからの山
▲いもせの山
三かさの山

君をおきて ▲いくたのうら
 きもむかふ 心
 木の根の ねはふ宮
 菊の花 ▲さくにたかはぬ
 同 ▲うつる色
 ▲とほき
 雲をなす 心いさよひ
 同 遠き國方
 雲はなれ まどつる
 くもりよの ▲よる
 くれ竹の ▲ふし
 同 ▲うらみ
 くその葉の ▲うらみ

同 ▲うらさひし
 くしかみの ふたがみ山
 草つゝみ 病
 草かけ あぬのくに
 草かけの あらぬの崎
 くまつゝら ▲つらし
 くさまくら たひ
 くものゐの ▲心ほそき
 くはし菊 ちたるくに
 くしろつゝ たふしのさま
 くるぐきに かけてよらん
 くれはどり ▲あや
 くれなるの あさはの野ら
 同 うつし心

同 ▲色に
 同 ▲おもひそむ
 同 人をあく
 同 ぶりてつく

け之部
 毛衣を はる

こ之部
 このくれやみ うつき
 ころか手を まさむく山
 許母理國 した備の國
 こもりくの はつせ
 同 豊はつせぢ

こはた川 ▲こはたかひし
 小ゆるきの ▲いそぎ
 こもりぬの ゆくへをしらに
 こもりづの 下よはへつゝ
 こく船に のりし心
 こく船の ▲かちとりあへず
 木づみなそ 心はよりぬ
 ことひうしの みやけのかたに
 こしほその ほかるをどめ
 衣手の まわかのうら
 同 ましろの駒
 同 田上山
 同 常陸
 同 かへる

同 なぎの川
 衣手を うちわの壁
 同 高堂タカキヤ
 こもまくら たかみむそひ
 同 高せのよと
 同 高はし
 こもたゝみ 平群ヘナリ
 こまつるき わさみか原
 同 わかかけ
 ことたまの 八十のちまた
 ことさへく からのさき
 同 くたらの原
 こく船の 浮たる戀
 同 名

さ之部
 さつさやみ ▲くらまの山
 さしのほる ひるめの命
 さつ人の ゆつさかたけ
 さつやぬさ つくし
 さゞ浪の 大津の宮
 同 志賀
 同 ふるさみやこ
 同 國津之神
 同 平山
 同 大山寺
 同 連庫山
 され波 いそせせち

同 同 同
 さくらをき しまて
 同 やむ時もなく
 同 まなく
 さたの浦 此さた過て
 わし
 さらし井の たえぬ
 さくら川 ▲あなかま
 ▲をふの下くさ
 澤水の ▲あさまし
 ▲なかく
 さくらはな さかゆるをどめ
 さざ柳 ねはるあつさを
 さざ竹の 背向ワカにぬしく
 さざ竹の 大宮人

同 同 同 同
 さくらむの 中
 同 君
 同 さねり
 同 みや
 同 みる
 さわらひの もねらつる春
 さゆり花 ゆりもあはんと
 さねかつら 後もあはんと
 ありゆき
 さねさは
 ▲てる
 さか鳥の あざこねまして

さゝかたの くらおこなひ
 さゝかねの 雲
 さばへなぞ あしき神
 同 さわくとねり
 同 さわく子ども
 さひつるや からうそにつま
 さく鈴の 五十そゝのみや
 さくくしろ 同
 さころもの をつくは嶺
 さしどみの くるそのをの
 さゝらかた にしきのひも
 さにつらふ もみち
 同 をどめ
 同 わか大きみ

同 同 同 同

し之部

しひも ひも
 しろ いろ
 同 君
 しひのめ の
 しひのめ の
 しひのめ の
 同 しひのめ の
 しなせる
 同
 同 片岡山

▲はからくと明
 ▲しのひ
 人にしぬへは
 しぬひてぬれば
 つくまさはかた
 かたしはかは

白雲の いほへかくれ
 同 龍田山
 同 たへにし
 同 かくる
 同 ▲立わかる
 同 おほよそ
 白露の けぬへき
 同 ▲おきふし
 同 つくし
 しらぬひの やまどの國
 しきしまの こし
 しなさがる 下行水
 下ひ山 ▲はかへ
 しひ柴の ▲しらぎ
 しら河の

しら霧の ▲ぬれきぬ
 白菅の しはくの野の しばく
 同 平野の榛原
 しり草の しられぬ
 同 しりぬ
 盤干のいたの かね念に
 しら波の ▲よるく
 同 おもしろ君
 同 いちしろく
 同 ▲かへる
 同 ▲きらそ
 同 ▲なぐり
 濱松か枝
 同 まなこの國
 しらはま

しらまなこ
しらとほふ
しら山の
しとみ山
しもとゆふ
しなたゆふ
しほかまの
しほ舟の
しらかしの
しまつとり
しら鳥の

三つ
をにひた山
▲ゆきみるへくも
▲ねろしの風
▲かつらき山
さ、波ちを
うらさひし
ならへてみれば
しら老れ
うつひかども
まの、國
とほ山松
ささ坂山
▲しらぐの

しなかどり
同 しかの角
し、じもの
同 同 同 同
同 同 同 同
し、くしろ
同 同
し、ゆく
しつたまき
同 下ひもの

あは
あな
さ、けて
みづへなごとり
ゆみやかくまで
ひさをりふせて
いはひふしつ、
いはひをつかみ
よみにまたんど
うまいぬしとに
あさかの國
いやしきわかゆる
敷にもあらぬ
下ゆ懸ふる

同 しつはたに
したのおひの
しらいとの
同 同 同 同 同
しらす弓
しらがつく
同 同 同 同
しら玉の
白たへの

▲とき郡
▲みたれ
▲道はかた〜
▲にりつきかたき
▲くる人
ひたの細道
磯
いそへの山
今春山
はる
ゆふとりつけて
ゆふは花かも
我子
たすき

同 同 同 同 同 同 同 同 同
しきたへの
同 同 同 同 同
しきもあふ
しきたへの

雪 わか衣手
雲
袖
衣
ふちぬのうら
まくら
たもと
床
家
妹
家
衣の袖

そ之部

須加の山 ほかなく
 杉むらの 思ひ過へき
 菅のねの 思ひみたれて
 同 なかき春日を
 同 ねもころ
 そみのねの ▲さしもせざらん
 墨そめの くらまの山
 同 ゆふへになれは
 同 たそかれ時
 そぐ六の いろは
 そが山 ▲ならん
 捨ころも ▲汐なれたり

せ之部

せみの羽の ひとにうたぎ
 ▲そ之部
 空みつ やまどのくに
 空にみつ 同
 そらのこぞ 仰
 そらかぞふ 大つの子が
 そ突の ひなしくに
 そに鳥の あをき
 染ゆふの そめし心
 ▲た之部

たかひかる ひのみこ
 同 ひのみや人
 たらちねの は、
 たらちしや 同
 たはらはの ねのみまなかゆ
 玉銚の 道
 同 里
 龍田山 立てもめても
 竹河の ▲よ、を
 たきつせの ▲はやき心
 たきの水 ▲かへりてそまは
 竹の子の ▲うさふし
 たくつぬの 白きた、むさ
 同 しらひけ

同 し、きのくに
 たどつら ひかはぬはく
 玉もなぞ よりねし妹を
 同 うかへなかせれ
 同 かよりかくより
 玉もかる をどめ
 同 辛荷の島
 同 沖
 玉もしつし いつものくに
 たまもよし さぬきのくに
 たまかつら たゆることなし
 同 くる
 同 ▲たゆる
 同 ▲かつらき山

同	同	同	同	同	同	同	同	同
はへてしあらは	かけぬ時なく	かけにみへつ、	ぬさとりおきて	みねりの里	八ちまたに	もりべの家	め	おもひ過わや
玉たれの	玉たれの	玉たれの	玉たれの	玉たれの	玉たれの	玉たれの	玉たれの	玉たれの
をち野	をち野	をち野	をち野	をち野	をち野	をち野	をち野	をち野
小籠	小籠	小籠	小籠	小籠	小籠	小籠	小籠	小籠
をかめ	をかめ	をかめ	をかめ	をかめ	をかめ	をかめ	をかめ	をかめ
▲みそ	▲みそ	▲みそ	▲みそ	▲みそ	▲みそ	▲みそ	▲みそ	▲みそ

同	同	同	同	同	同	同	同	同
▲糸のたねま	▲そける	▲たれ	うちづくに	みかさの山	かまくら山	なかき命	千尋にもかも	たねを
玉かきの	玉かきの	玉かきの	玉かきの	玉かきの	玉かきの	玉かきの	玉かきの	玉かきの
たかくらの	たかくらの	たかくらの	たかくらの	たかくらの	たかくらの	たかくらの	たかくらの	たかくらの
たきしこる	たきしこる	たきしこる	たきしこる	たきしこる	たきしこる	たきしこる	たきしこる	たきしこる
たくなはの	たくなはの	たくなはの	たくなはの	たくなはの	たくなはの	たくなはの	たくなはの	たくなはの
玉のをの	玉のをの	玉のをの	玉のをの	玉のをの	玉のをの	玉のをの	玉のをの	玉のをの
たえたる	たえたる	たえたる	たえたる	たえたる	たえたる	たえたる	たえたる	たえたる
みしかき	みしかき	みしかき	みしかき	みしかき	みしかき	みしかき	みしかき	みしかき
みたれ	みたれ	みたれ	みたれ	みたれ	みたれ	みたれ	みたれ	みたれ
なかき	なかき	なかき	なかき	なかき	なかき	なかき	なかき	なかき
あはた	あはた	あはた	あはた	あはた	あはた	あはた	あはた	あはた

同	同	同	同	同	同	同	同	同
思ひみたれて	うつし	よれども	かけ	うねひの山	さき坂山	かけ	しらはよ波	むらちかいそ
たぢま糸の	たぢま糸の	たぢま糸の	たぢま糸の	たぢま糸の	たぢま糸の	たぢま糸の	たぢま糸の	たぢま糸の
たまたとさ	たまたとさ	たまたとさ	たまたとさ	たまたとさ	たまたとさ	たまたとさ	たまたとさ	たまたとさ
たぐひれの	たぐひれの	たぐひれの	たぐひれの	たぐひれの	たぐひれの	たぐひれの	たぐひれの	たぐひれの
たみごも	たみごも	たみごも	たみごも	たみごも	たみごも	たみごも	たみごも	たみごも
たまさぬの	たまさぬの	たまさぬの	たまさぬの	たまさぬの	たまさぬの	たまさぬの	たまさぬの	たまさぬの
玉かたま	玉かたま	玉かたま	玉かたま	玉かたま	玉かたま	玉かたま	玉かたま	玉かたま
あはんどいふは	あはんどいふは	あはんどいふは	あはんどいふは	あはんどいふは	あはんどいふは	あはんどいふは	あはんどいふは	あはんどいふは

同	同	同	同	同	同	同	同	同
さやに入野	玉まく田あ	たちのさわき	むこのわたリ	しらすの糸	しら山かせ	手にまさもちて	まさぬしいも	いそのくに
たぢま糸の	たぢま糸の	たぢま糸の	たぢま糸の	たぢま糸の	たぢま糸の	たぢま糸の	たぢま糸の	たぢま糸の
たまたとさ	たまたとさ	たまたとさ	たまたとさ	たまたとさ	たまたとさ	たまたとさ	たまたとさ	たまたとさ
たぐひれの	たぐひれの	たぐひれの	たぐひれの	たぐひれの	たぐひれの	たぐひれの	たぐひれの	たぐひれの
たみごも	たみごも	たみごも	たみごも	たみごも	たみごも	たみごも	たみごも	たみごも
たまさぬの	たまさぬの	たまさぬの	たまさぬの	たまさぬの	たまさぬの	たまさぬの	たまさぬの	たまさぬの
玉かたま	玉かたま	玉かたま	玉かたま	玉かたま	玉かたま	玉かたま	玉かたま	玉かたま
あはんどいふは	あはんどいふは	あはんどいふは	あはんどいふは	あはんどいふは	あはんどいふは	あはんどいふは	あはんどいふは	あはんどいふは

同 おく
 たかくらの みかさの山
 たける火の はにそ出ぬる
 玉ちはふ 神
 たまさつる うちの大野
 同 うちのあり
 命
 我
 いく代
 同 うちのかきり
 同 はやふさわけ
 たかゆくや 青かき山
 たなつく やははだ
 同 いつみの川
 たなめて

同 いなぎの山
 たもとほり 行見の里
 同 いなみの里
 立わかれ いなはの山
 ち之部
 ちりひちの かそにもあらぬ
 ちいほさぞ 竹田のくに
 ちばの かつぬをみれば
 ちのみの ちのみにこと
 ちはや人 宇治
 ちはやふる 同
 同 神
 同 かもん社

同 金のみさき
 同 人
 同 ▲あさまがたけ
 同 ▲平野
 露霜の ねきてしくれば
 同 けなはけぬへし
 露霜の けやそき我み
 同 秋
 つのくにの ▲なには思はそ
 同 ▲名には立ぬる
 同 ▲ながそとみへて
 つぬふ やましろ

つくはね このものかのも
 同 ▲みねは戀しき
 つくは山 ▲つくく
 つかの木の いやつきく
 つゆ草の ▲つゆの命
 つさくさの かりなる君
 同 うづし心
 同 かつろひやそき
 同 うづし心
 つき人の けぬへき戀の
 つぼそみれ かつらか枝
 つしはな ▲つみをかしぬる
 つぬさはふ にほへる君
 いはみの海

同 同 同
つねならぬ
つはさなそ
つまこもる
同
同
つぎ弓の
つるき太刀

いはれの池
いは
いはのひめ
人く山
ありかよひ
やかみの山
や野の神山
をさほ
こやる
みにそふも
とぎし心
をやにの社
ひつきのみこ
なのをしけくは

同 同 同 同 同
つるぎはの
つるたらぬ
つくし櫛
つむ稻の

なから心から
いかにやま
いよこぞこし
いはとこの社
みにそひねくは
▲身を切くだく
やさかのなけき
さして
▲つむぞもつぎを
はとく

て之部

てる月の
てその音

あかさる君
ほとく

と之部

とぎつかせ
とのくもり
とほつかみ
遠つ人
同
同
同
同
とこよもの
とふたつの
とふ鳥の
とりかなく

ふけひのうら
雨ふる川
わか大君
松浦
松の下道
かりちの池
かりか来なむ
まつらさよ姫
このたちはな
たつし
あそか
あつま

な之部

とりかよふ
鳥しもの
同
とふたて
とぎみはる
とぎぬの
ともしひの
なる神の
同
同
なくこなぞ

はた
なつさひ
うみにかきあて
ふな木さる
さうて
思ひみたれて
あかしのおとに
みれはかしてし
おとにのみきく
▲たどにきつ、
ことたにほはぞ
したひきまして

こ之部
と之部
な之部

同 ねのみなきつ、
 なまよみの かひのくに
 なくはしき よしの、山
 同 いなみのうみ
 同 さみぬの島
 那須の湯の ▲たさる胸をも
 名取川 ▲なきなとりては
 波の穩の いたてらくもよ
 なく鳥の まなく時なく
 同 やめばつかる、
 なくたづの たつねくれはそ
 同 ちきにし鳴む
 夏虫の おもひによる
 同 ▲思ひにきゆる

ならしはの ならはまざらて
 ならのはの ▲なくしかほ
 なつくその たえと
 同 たねぬ使
 同 うなかふくまけ
 同 うなひをさして
 同 うれかみかた
 夏引の 手ひきのいと
 なみぐもの うつくしつま
 同 ひけはたゆ
 同 なかつのうし
 うつる
 なのはりの なはのりてしを
 なのはりの 露分衣
 夏くさの

同 ぬしまかさき
 同 しなえうたふれ
 同 おひねのはま
 同 思ひしなへて
 同 どをよるみに
 同 どをまるてら
 同 みて
 同 ▲よなかき
 同 ▲世にへぬ
 夏ころも ▲うそき
 同 ▲かどりのうら
 同 どほさかりぬて
 なくるさの ▲さやかに
 な、つ子の ▲さやの口々
 同

なき名のみ ▲龍田
 同 ▲辰の市
 同 ▲高尾山
 同 なき事を ▲いはれの池
 難波かた ▲名ににもあらそ
 同 ▲みつ
 にぬ雲の 布せかたうせむ
 にひはりの 鳥羽のあふみ
 にひはり つくはを過
 にこり水 ▲たれそまはかは
 にこ草の にこよりに
 にほどりの なつさひゆけは

に之部

同 足ぬらしくる
 にはとりの ▲あしのいとなき
 同 おさ長川
 同 かつしかわせ
 同 ふたりならひい
 かけ
 にはつ鳥
 庭を、め
 うそしきりむ
 にはたつみ
 なかる、なみた
 すまぬ
 にはにたつ
 わさてはふそま

同 同 同 同 同 同 同
 夜 月 ぬは玉の ぬえとりの ぬつ鳥 ぬえくさの ぬま水の ぬえとりの ぬえとりの ぬえとりの
 夜 月 ぬえとりの ぬえとりの ぬえとりの ぬえとりの ぬえとりの ぬえとりの ぬえとりの
 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同
 よる 夜さり ねてのよふ 夢 いま こまのくるま ころ ゆくかたもなき めにしあれば さいし のとよひをるに うらなさをれば 同

ぬ之部

同 片戀つま
 ぬえとりの 同
 ぬそ人の 龍田の山
 ぬ之部
 ぬしろの 白た、むき
 ぬぬなほの ▲ぬぬなはたてし
 の之部
 能と川の 後にあはんど
 後瀬山 のちもあはんど
 は之部
 はる日の かそかを過

はるの日の ▲なかくや人を
 はるかそみ ▲よそにや
 同 めのへゆたしに
 はるかそみ ▲思ひみたれて
 同 おほにしるは、
 同 ▲ふる人
 はる雨の ▲たみ山
 はやさめ ▲ふりぬる事も
 初雪の 音にし出なほ
 春風の さつまのせと
 はや人の くらほし山
 しばたての 熊木
 同 さかしき山
 同 しなひざるゑて
 はる山の

はや川の
はやき瀬の
はや船の
春の田を
はまた鳥
はこ鳥の
はまちどり
はるとりの
同
初丁の
同
はなち鳥
はまひさ木

ゆかくもしらぎ
立あへぬ君
△はやくも
△かへそく
足ならむ
△明てくやしき
あちやたぬる
さまよひぬれは
なきにきつ、
△なきこそわたれ
△はつかに
△ねになく
△ゆくへもしらぎ
△久しくあらぬ

はまつら
春花の
同
初花の
はるやなき
同
はなくはし
同
は、そはの
はたそ、き
同
同
花そ、き
春草の

ままし
いやめつらしき
めてたからむ
ちるへきものを
△かつらき山
かつらにきつ、
△さくらのめて
蘆かき
は、のみこと
ほにいつる君
くめのあくこ
うらの、山
ほにいつる
しけき

同
花そめの
花かつみ
同
はふくすの
はふくすの
△たつね
△たねそしぬはん
行方もなくや
同
下よの戀
わかれしくれば
をのかむきく
からまる君
花はちそ
はねさ色の

うまくひ山
△うつろひやすき
△かつみる
△かつてもしらぬ
いやとほなかく
△たつね
△たねそしぬはん
行方もなくや
下よの戀
わかれしくれば
をのかむきく
からまる君
みのさかぬ人
うつろひやすき

はとりの
はしむかふ
ひさかたの
ひ之部
月
みやく
△こま
暁日の夜雨
△ひかりのとけき
△中に生たる壁
△よるひる
あめ
あま
あまつ罪

いとまのくに
おとのみこと

同 天のしくれ
 同 あまてる月
 同 雨
 同 あめのかく山
 同 うそひの坂
 同 なるはたをどめ
 飛弾人の うつそみなは
 ひくあみの なつさひこんど
 ひたり手の おくの手
 ひけどりの わかひけゆけは
 ひしからの さしけく
 ひきまゆの ▲かくふたこもり
 ひもどりめ 旅

ひものをの いづかりあひて
 ひもか、み ののかの山
 人こゝろ あらしの山
 ふ之部
 冬こもり 春さりくれは
 吹風の ▲めに見ぬ
 吹風を ▲ならしの岡
 ふる雪の ゆき過かて
 同 しる髪
 同 いちしろけむな
 同 けなはけぬかに
 ふる小雨 あひたもかきて
 ふそまらぎ ひきての山

ふちなみの 只一め見し
 同 思ひまつはし
 冬くさの かれにし
 ふり見るの ふかめし子
 ふせやたつ つまどひしけん
 ふせやたき せ、しきそひ
 ふる衣 うちぞて人
 同 きならの山
 同 まつちの山
 同 ふちころも まとほにし有は
 同 なる、
 へつなみ へ之部
 へにぬきこて

ほ之部
 ほど、さそ とはたのうち
 ほたるなぞ ほのか
 同 かかやく神
 ま之部
 またらその たゆひかうら
 まよひきの よこやま
 まつち山 まつほと過て
 まくらかの こかのわたり
 まそかよ そかのうら
 またみるの 又ゆきかへり
 まなこなぞ 子ら

まとりそむ
ま木さく
同
同
まさたつ
ま木はしら
同
まこつみの
松の柴の
松かねの
真葛はふ
まそかよし
真玉つら
まくさかる

うなての杜
ひのみかど
ひのいたど
ひのつまで
あら山
ふとま心
はめてつくれる
泉の川
▲いつともわかぬ
待事とほし
春日
そかのかわら
たねむの心
あらの

まろ小そけ
まささつら
同
同
まかみふる
まろか、見
同
同
同
同
同
同
同
同

まつかまろね
つきてゆければ
た、まあさはり
いやとこしさに
くし稲田ひめ
まさめ
てる
見る
見ぬめのうら
見ともわかめや
みなふち山
むかふ
床の、ちんぞ
どぐ

同
同
同
同
同
同
同
同
同
同
同
また鳥の

面かけさらぞ
清き
かけて
二上山
ふた
た、めに君を
▲うつれるかけ
▲見そは
つまや
にふのまそほ
をちのそか原
をちこちかねて
又

み之部

三冬つき
三日月の
同
みな月の
みゆきふる
同
みけつくに
同
同
同
みつかさの

春
まゆねかき
▲われて
なこしの山
こし
冬
ぬしま
しん
なには
いせ
久しき時ゆ

道しはの	▲おとろの鬘	みりしは	はりまはや待
みちのくの	▲こまほしく	同	はりま
みなそこふ	おくのをとめ	み臍	向田の國
みなしたふ	うを	みつきつむ	▲大くら山
みなそ、く	同	みなれさを	▲見なれぬ人
同	しひのわくて	みつたまる	よさみのいけ
みなせ川	ありても水は	同	池田のあま
同	たゆとふ事を	みやま木の	▲こりともこりぬ
同	下にかよひて	みつ、たふ	いそ
同	▲ありて行水	みつどりの	あそはの山
みなさちふ	奥つ小しま	同	立むよそひに
水のあわの	▲き、んかへる	同	うまねやそへき
同	うたかた	みか、となす	ふたりならひる
みつほなき	かれるみ	みさこゑる	洲

同	荒磯	みとらしの	あつたの弓
みなのおた	かくろきかみ	みて、ろを	ひろたの國
みそ、かる	信濃	同	よしの、國
みつたてを	ほつみ	同	なかたの國
みつくりの	中	みつくし	くめのこ
みくしけの	二上山	同	くめのわくて
みもろつく	かせ山	みつゝの森	▲みつる
みけむかふ	南淵山	同	▲もる
同	あちふの宮	同	むら鳥の
同	あはち	同	同
同	きの、	同	同
みてくらを	ならより	同	同
みはからを	つるきのつけ	同	同
みどり子の	▲た、ん月	同	同

む之部

同	あさ立ゆけは
むらぎの	にはへるも
同	名高のうら
同	こかたのうら
むらぎの	こゝろ
むぎの松	とけそ
同	△とけて
望月の	大やけ道
同	たれるおもり
	たらはしけん
同	も、しきの
	大宮
同	八十うち人
同	八十をとめ
同	八十のこゝろ
同	やそとものを
同	やそうち川
同	をとこをみな
同	いはせの杜
同	うち川
同	蘇我の國
同	か、らはしもよ
同	過かてぬ子を
同	過にし君
同	過てぬるを

め之部
も之部

同	うつり往ぬれば
もどかしは	△もとの心
ものかつら	△もろとも
も、しね	みぬの國
同	みぬの大君
も、よ草	も、世
もしほ木の	△からくも
もゆる火の	ほ中
も、たらそ	やそはの木
同	やそくまで
同	山田
同	いつき
同	いかた
百松の	わたらひのくに
同	も、つたよ
同	ぬてゆらくもよ
同	いはれの池
同	つぬかのかに
同	八十の島わ
同	わたらい
同	やみやな
同	やみのよ
同	山城の
同	やくもたつ
同	やくもたつ
同	やつめさき
同	山ひこの
同	思ひまどはし
同	ゆくささしむに
同	△となに
同	いつも
同	いつもたけるか
同	△こたへ

や之部

同	△こゑたても	山吹の	やむとさもなし
山のゐの	あささ心	やまくさの	やまさ
同	△ありても	やまふきの	にはべる妹
同	△にこり	山そけの	うかひ
やまかはの	△あさまし	同	亂りこひのみ
山のはに	いつもの子	同	みならぬこと
山水の	△いはまほし	同	やまさ
やつはしの	△くもてに思ふ	やほたてを	ほつみのあそ
やはによし	いさつきの宮	やまたちを	となみのせき
やくしほの	からき戀	同	どこゝろ
やまかはの	△おどにのみ	同	へつかふ
やさか鳥	いさつくいも	やまたつの	むかへをゆかえ
山鳥の	いどりしぬれば	八重たゝみ	へくりの山
同	いどりかもねん	やとみしと	わか大君

ゐ之部

ゆ之部

夕日の	ひてるくに	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	日かけるみや	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	よそ	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	かゆきかくゆき	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	ほしどは	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	あかつきやみ	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	過にし人	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	過にし人も	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	月	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	後もあひなん	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
行水の		同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

ゐ之部 ㊦ゆ之部

ぬまぢつさ

あかしのと

ぬる雲の

立てもゐても

居るたつの

ともまき

う之部

をみなへし

ささ野

ささ澤

る之部

をみなへし

しぬへる君

を之部

をの、えの

▲はとくし

を之部

をやま田の

▲おとろかし

を之部

を花ちる

しつくの田居

を之部

をとめらか

ゆるあひのあせ

同

袖ふる山

をとめらに

あふ坂山

をとろ山

やまどを過

をし鳥の

をしき

冠辭例下終

冠辭例跋

いにしへのうたはた、有の眞心もてぞりにふりことにむかひうた
 ひれをへて心やりぬれ、おのつらその心のとにむかひりことも
 てみや備なすめり世くたちてはたくみにそやたくみもてゆければ
 心あまりことをいひたらはすなむされはめりくふりこと、古にお
 へく今にすくむか友貞主のいにしへのおほきすくなきむ、
 ふりことむか、につとへてきはやすく一わたりに見てほむむむ
 はうたよむたときのみかはたこ、るありやよれ人よく見ときたま
 ひてよ

享和二とせといふと一のは月

あ・おのれと一520



明治廿五年六月廿八日印刷
同 年六月廿九日出版

定價金拾五錢

翻刻發行者

藤谷虎三

大阪市東區內本町二丁目百卅九番屋敷

印刷者

瀨戶清次郎

大阪市西區鞆下通二丁目四十八番屋敷

專賣者

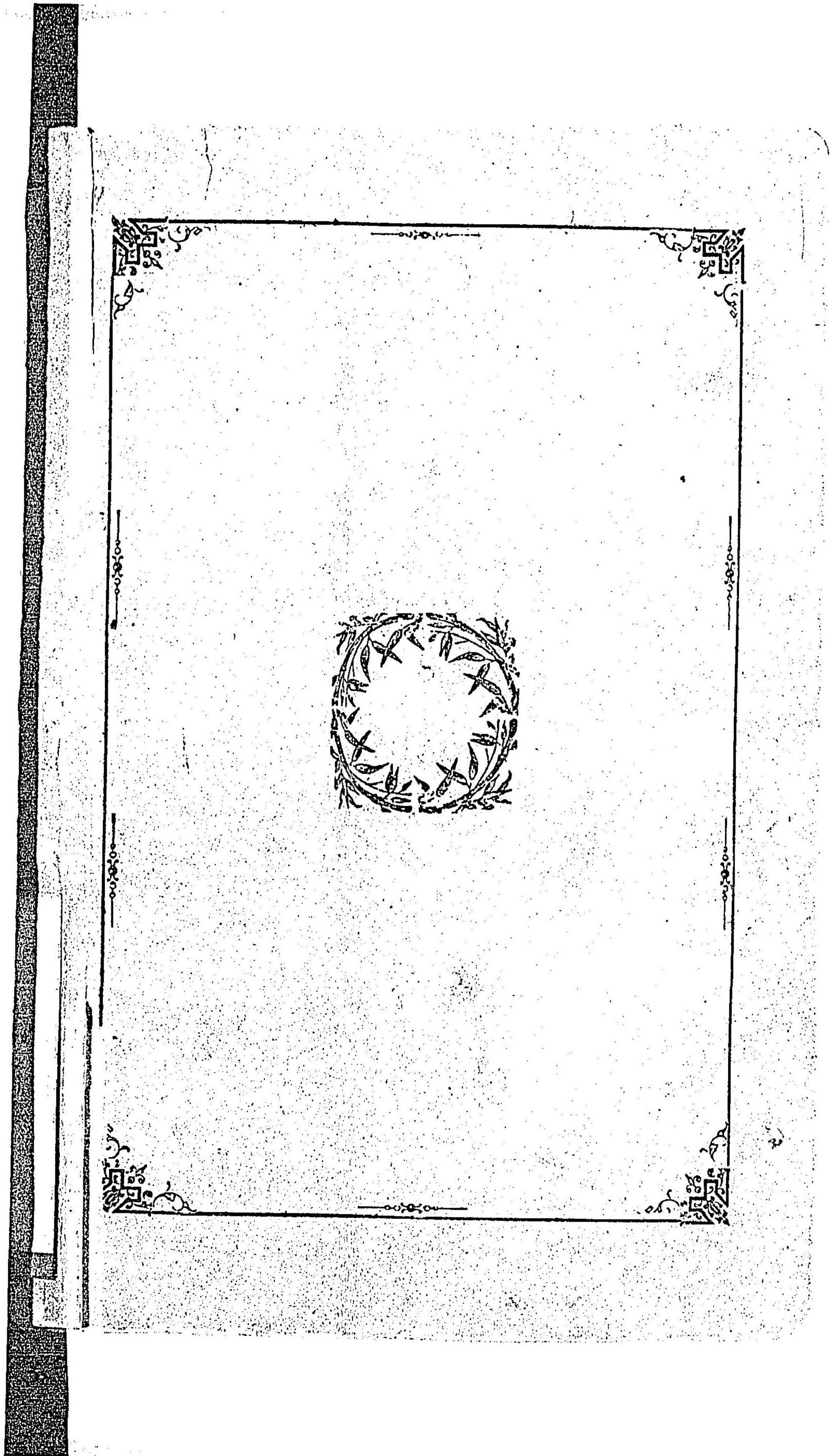
岡本仙助

大阪市東區北久太郎町四丁目百廿八番屋敷

同

岡本宇野

大阪市南區盤町三丁目四番屋敷





816.2

M428k

078786-000-6

816, 2-M428k

冠辞例

松山 貞至/著

M25.6

DAC-2550

